

# 第5学年1組 国語科学習指導案

令和7年10月3日(金)  
5校時(13:15~14:00)  
荒川区立峡田小学校  
第5学年1組 31名

## 研究主題　　自分のよさや可能性に気付く子の育成

～受容的、肯定的な対話と友達との関わりを通して～

### 1 単元名 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう

教材名 「固有種が教えてくれたこと」「自然環境を守るために」(光村図書5年)

### 2 単元の目標

- 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。  
(知(3)オ)
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思B(1)エ)
- 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて趣旨を把握することができる。(思C(1)ア)

### 3 単元設定の理由

#### (1)児童の実態

本単元では、自分の意見を分かりやすく相手に伝える技能を身に付け、その力を活用しながら交流を行っていく。そして、他者の考えの違いやよさに気付いたり、自分と相手の考え方の違いを見付けて、自分の考えを再構築したりすることができるようにならねたい。

また、他者との交流を通して、自分の考えがよりよいものになったことを実感させることで、協働的な学びのよさに気付き、積極的に他者と交流し、考える力を伸ばそうとする態度を養いたい。

#### (2)教材について

児童にとって「固有種」は初めて知る言葉であることが予想される。しかし、筆者は、固有種が、日本の豊かで多様な自然環境のすばらしさを伝えてくれる存在であることを、様々な説明の工夫を用いて伝えようとしている。こうした思いあふれる筆致は、知らない言葉であっても、児童の関心を引きつけ、日本列島の自然や動物についての新しい見方をもたらす機会となる。さらに、学校図書館を利用し、学校司書が選書した環境問題に関する本をブックトラックに用意し、いつでも手に取れるようにすることで、興味・関心をさらに高める手立てとする。

ここで芽生えた興味・関心を、「自然環境を守るために」どのような取組が必要か調べることに広げ、自分の意見を表現することにつなげていきたい。

### 4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・原因と結果など、情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</li><li>・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。(3)オ)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。(C1)ア)</li><li>・「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。</li></ul>

	(C(1)ウ) ・「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)エ)	
--	---	--

## 5 本单元とキャリア教育で育みたい力

- ◎ **自**自分で考え、気付く力……意欲的に考え、課題や解決策、自分によさに気付くことができる。  
(課題対応能力)
- ◎ **友**友達等と関わり、学び合う力……友達との対話や活動を通して自分の考えを深めることができる。  
(人間関係形成・社会形成能力)

### 研究仮説

「授業の中で生まれた個人の課題を学級全体で協同して解決することができれば、自己のよさや可能性を感じ意欲的に学習に取り組むことができるだろう。」

本单元は、自然環境や環境問題について学校図書館等を利用して調べ、興味をもった自然環境の現状や環境問題について、資料を根拠にして自分の考えを伝える文章を書く学習である。調べる段階で「情報の収集」、「整理の仕方」、「まとめ方」など、学習の仕方を自分で選択することで、「自分で考え、気付く力」を育むことを意識していく。また、友達との交流を通して、友達の考えのよさや自分の考えとの違いに気付くことで、さらに自分の考えが広がったり、深またりすることを体験させ、「友達等と関わり、学び合う力」の大切さを気付かせる。

## 6 目標にせまるための手立て

### 手立て① 学習計画の作成

○単元の導入では、本单元で新たに高められる力はなにか、それが自分自身にどう関わるのかを考えさせて、学習意欲を高めたり、必要感をもたせたりすることができるようになる。また、教材との出会いで感じたことや調べてみたいことを児童全員が黒板に記入し、全体で振り返りを行うことで、学級全体で深めたい場面を確認できるようにする。さらに、その板書をもとに学習計画を立てることで、学級全体で考えた学習計画として単元を進めることができるようになる。(友達等と関わり、学び合う力)

### 手立て② 自分に合う学習方法の選択

○各教科の学習において、児童自身が学習の仕方を選択できるようになる。情報収集の仕方(図書資料、Sagasokka!、インターネット)、整理の仕方(ノート、付箋、ICT 機器の活用)など、自分に合った方法で学習を進めていけるようにする。(自分で考え、気付く力)

### 手立て③ フリータイムの活用

○「フリータイム」は、自席やワークスペース、友達の席など、教室の中で、どのように学習をするかを自分自身で選択し、行動する時間である。その時間では、多くの友達との交流や、掲示された情報の収集、それまでの情報の整理など、自分の課題を解決したり、考えを深めたりするための選択を行えるように声掛けを行う。(自分で考え、気付く力)(友達等と関わり、学び合う力)

次	時間	○学習内容	○指導上の留意点☆評価 ★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」
第 一 次	1	① 単元名を確認し、学習の見通しをもつ。 ② 扉のページを確認し、絵や題名から内容を予想したうえで通読する。 ③ 初めて知ったことや興味をもったこと、疑問に思ったことを交流する。	①説明文での学習をいかして文章を書くことを確かめる。 ②児童が問い合わせをもち、自ら読み進めようとする意欲をもてるよう、初読前と初読後の話し合い活動を意識して指導する。 ☆文章と資料の関係などに注目しながら読み、自分なりの感想をもっている。[発言・記述](思考・判断・表現) ☆読むことで学習したことをいかして、自分の考えを書くという学習の流れを捉えようとしている。 [発言・記述](主体的に学習に取り組む態度) ★将来を見通す力

第2次 【本時】	2 ～ 6	<p>④ 文章構成を押さえて筆者の論の進め方を確認し、文章の大体を捉える。</p> <p>⑤ 文章と資料のつながりや筆者の論の進め方を捉え、要旨をまとめめる。</p> <p>⑥ 筆者が資料を使った意図や効果を考える。</p> <p>⑦ 資料の効果に触れながら、筆者の考えや説明の工夫について、自分の考えをまとめめる。</p> <p>⑧ 筆者の考えや説明の工夫について、考えたことをグループで伝え合う。</p> <p>⑨ 学校図書館などで、環境に関する図書を読み、自分の考えを伝えるための資料を選ぶ。</p> <p>⑩ 資料を根拠にして自分の考えを相手に伝える。</p>	④「初め/中(1)/中(2)/終わり」を確かめ、文章構成と内容を把握できるようにする。
			⑤文章と資料の対応関係や論の進め方を確認し、要旨をまとめられるようにする。
			⑥資料の必要性に着目しながら考えられるようにする。
			⑦教科書p158「資料の効果を考えるときは」を読み、筆者と読者、両方の立場から考えられるようにする。
			⑧筆者の考えに最も共感・納得できたところはどこか、筆者の説明でいちばん工夫されていると感じたところはどこかを中心にながら、自分の考えをまとめるように指導する。
			⑩自分の考えをまとめためのワークシートなどを用意する。
			☆原因と結果など情報と情報との関係について理解している。 [発言・記述] (知識・技能)
			☆日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付いている。[観察・発言] (知識・技能)
			☆「読むこと」において、事実と感想、意見などの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 [発言・記述] (思考・判断・表現)
			☆ねばり強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、論の進め方を考えようとしている。 [発言・記述] (思考・判断・表現) ★自分で考え、気付く力 ★友達等と関わり、学び合う力
第3次	7 ～ 9	<p>⑪ 環境問題について自分の考えを書くことを確かめる。</p> <p>⑫ 統計資料を集め、自分の考えをもつ。</p> <p>⑬ 「初め」、「中」、「終わり」で書くことを確認し、構成を考える。</p> <p>⑭ グラフを用いて考えを書く。</p>	⑪教科書p160の二次元コードをヒントに、解決したいと思うような環境問題を考えられるようにする。
			⑫教科書p161の二次元コードから統計資料を見る。
			⑬付箋やカードなどを用いて、大まかな内容を考える。 ☆「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 [発言・記述] (思考・判断・表現)
			☆読み取った筆者の工夫をいかして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。 [発言・記述] (主体的に学習に取り組む態度) ★自分で考え、気付く力 ★活動の振り返りができる力
第4次	1 ～ 0	<p>⑮ 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>⑯ 単元全体の学習を振り返る。</p>	⑮どのようなところがよかったですを考えながら交流する。 ☆図表の使い方などの観点で、互いの文章のよいところを伝え合っている。[発言・記述] (思考・判断・表現)
			☆単元全体の学習を振り返ろうとしている。 [発言・記述] (主体的に学習に取り組む態度) ★友達等と関わり、学び合う力 ★活動の振り返りができる力 ★将来を見通す力

## 8 本時の活動(6／10時間)

### (1) 本時のねらい

環境問題に対する自分の考えを、資料を根拠にして友達に伝え、交流を通して、資料の活用の仕方や自分の考えを深めることができる。

(2) 本時の展開

時間	○児童の活動	◇指導上の留意点	☆評価 ★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」
導入 5分	○本時のめあてを確認する。	◇事前に良いと思った本を選定する。 ◇進捗状況を確認しながら進める。	
展開 35分	○グループで環境問題に対する自分の考えを伝え合う。 (交流の仕方を学ぶ時間) <b>【異質グループ】</b>  ○教室全体で環境問題に対する自分の考えを伝え合う。 (フリータイムの活用の時間)	◇自分の考えと活用する資料が関連しているのか、図表などの資料の使い方で効果的だと感じたところはどこかなど、事前に交流の視点を伝える。  ◇教科書p159「たいせつ」を確認し、資料の効果を考える際の具体的な観点を共有する。	★自分で考え、気付く力 「日本には、様々な自然環境や環境問題があることに気付くとともに、資料の活用方法や提示の仕方の工夫を見付ける力」 ☆図表の用い方などの視点で、選んだ資料と主張が関連していることに気付いている。 「発言・ノート」(知識・技能) ★友達等との関わり、学び合う力 「友達との交流を通して資料の用い方や、工夫の仕方などに気付き、自分の考えを深める力」
まとめ 5分	○本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	◇グループや全体で感想の交流を行うことで気付いたことを中心に振り返りを書くように促す。	

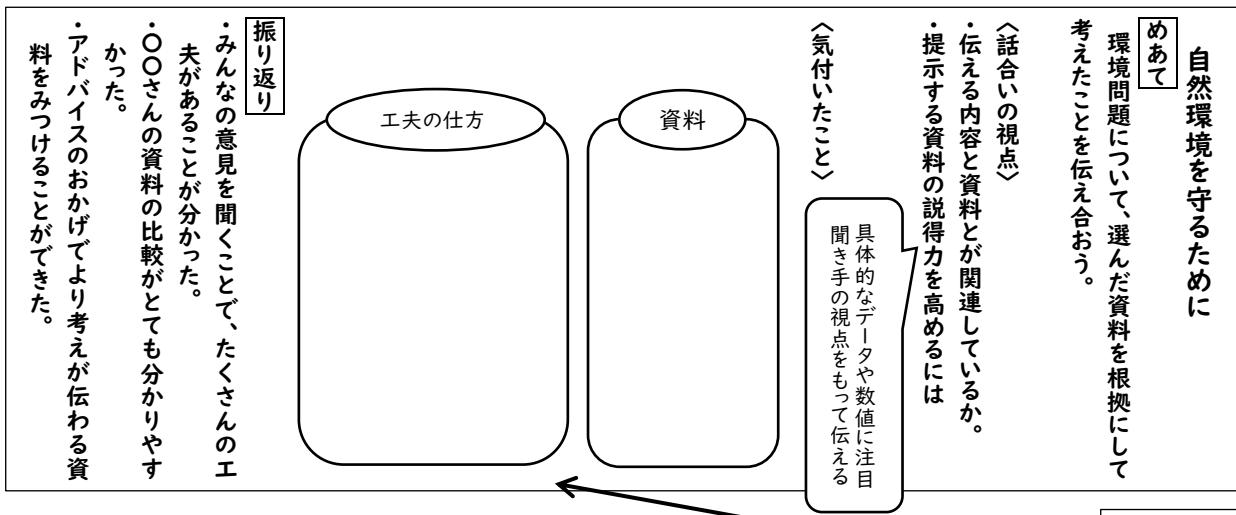
〈本時の評価と授業の視点〉

- |  |
|--|
| A 児童 2つ以上の資料を根拠として示している。また、自分の意見と資料の整合性がとれている。 |
| B 児童 自分の考えと資料の整合性がとれている。                       |
| C 児童 自分の考えと資料の整合性がとれていない。                      |

○授業の展開の仕方は、児童一人ひとりの考え方を見出したり、深めたりする手立てとなっていたか。

○フリータイムは、友達との関わりを通して自分のよさや可能性に気付く手立てになっていたか。

## 9 板書計画とワークシート



### 事前ワークシート

<p>○根拠となる資料について</p> <p>○その問題を選んだ理由や考え方</p>	<p>○自分が選んだ環境問題</p>	<p>○環境問題について、選んだ資料を根拠にして 考えたことを伝え合おう。</p>
<p>○アーリファ （+アルファ）</p> <p>この資料から、○○ということが分かれます。</p> <p>○○さんの意見を聞くことで、たくさんの工夫があることが分かった。</p> <p>○○さんの資料の比較がとても分かりやすかったです。</p> <p>アドバイスのおかげでより考えが伝わる資料をみつけることができた。</p>		

フリータイムの時間で  
黒板にこどもたちが  
書きに来る。